

令和 6 年 6 月 20 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19H01236

研究課題名（和文）方法としてのサイノフォン 華語語系文学史構築のための基礎的研究

研究課題名（英文）Sinophone as Method: Reconstruction of the History of Modern and Contemporary Chinese Literature

研究代表者

濱田 麻矢（HAMADA, Maya）

神戸大学・人文学研究科・教授

研究者番号：90293951

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 4,000,000円

研究成果の概要（和文）：中国文学、台湾文学、香港文学というように国家もしくは体制によって区切られてきた20世紀の中国語圏文学について、サイノフォン（華語文学）という新しい概念に基づいた新たな文学研究の枠組みを提案した。同時に、文字テキスト／小説中心だった文学概念から画像／音声の果たした役割の重要性を提唱し、グラフィックノベルや映画シナリオといった複合的なテキストも視野に入れて中国語文学研究の新しい地平を開くとともに、中国、台湾、香港、北米といった海外の研究者／創作者と討論し、華語文学が持つ多様な可能性について研究論文を多数執筆、公開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

中国に対する政治的イメージが先行している現在、中国の文化が持つ多様性を見直し、伝えていくことには大きな意味がある。本研究では20世紀中国の經典的作品をジェンダー問題や民族問題など、新たな視点を用いて読み直すとともに、国内であまり知られていない植民時期の台湾文学やチベット文学、香港文学、マレーシア華人文学など、中国語圏における多様な文学的営為について学術的な整理を試みた一方、翻訳や解説、シンポジウムなどを通じて、テキストそのものの魅力を日本の読者に届けるという社会的意義も担った。

研究成果の概要（英文）：This research proposes a new framework for the study of Chinese-language literature based on the new concept of Sinophone (Chinese-language literature), which has been divided into Chinese literature, Taiwanese literature, and Hong Kong literature etc. based on the nation or system of the 20th century. At the same time, we proposed the importance of the role of images and sounds in the literature, and opened a new horizon for the study of Chinese language literature, taking into consideration composite texts such as graphic novels and film scenarios, and also discussed with overseas researchers and creators in China, Taiwan, Hong Kong, and North America. We have written and published numerous research papers on the various possibilities of Chinese language literature.

Translated with DeepL.com (free version)

研究分野：中国文学

キーワード：サイノフォン 中国語圏文学 ジェンダー 台湾文学 香港文学 マレーシア華人文学

## 1. 研究開始当初の背景

早くは1980年代に、共産党史観から脱却し、晩清から中華人民共和国までの流れを「20世紀中国文学」として捉え直すという考え方が提起された。また「文学史を書き直す」というキーワードの元に、文学史そのものの自律性が見直された。しかしながら、これらの動きは「現代中国文学」の「現代」性を問い直しはしたものの、そこに被せられた「中国」の自明性を疑うことはなかった。「中国文学」とは「中華人民共和国の文学」であり続け、そうでない中国語文学は「華僑華人文文学」「台湾文学」「マレーシア華語文学(馬華文学)」といった名前を付けられ、「中国文学」というメインストリームのあり方に介入することはなかったのである。(図の中央の破線の右上部)。21世紀になって、日本でも「華語圏文学」「中国語圏文学」というあらたなフレームが提示されたが、図で示したように、なお「中華人民共和国の文学」に「台湾文学」と「香港文学」についての論述を補完するという形にとどまっている。本研究では、香港とアメリカという英語圏で提唱された新たな上位概念「サイノフォン」に注目した。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、サイノフォンの発想を援用し、新たな中国語圏(華語語系)文学史の構築のための視座を提供することである。そのために、研究代表者及び分担者はそれぞれ「米国移民の文学」「華語語系文芸におけるソ連/共産主義イメージの影響」「東南アジアの華語文学」という角度からアプローチを試み、「現代中国文学研究」をより多様化したステージに引き入れることを目指した。具体的には、

中国語圏を貫く事件(抗日戦や国共内戦など)の語られ方を、異なる地域の文学の精読を通じて比較し、その眼差しの異同を分析する。

特に中国国外の作品における「共産主義」思想の扱われ方に注目する。「崇高な理想」なのか「邪悪な思想」なのか、様々なイメージが予想されるが、作品中の「共産主義」とはどこまで「中華人民共和国(毛沢東思想)」と結びついていたのか、 Kommunismusと中国イメージとの関係を明らかにする。

さらに、「サイノフォン作品におけるトラウマ」というテーマを追う。特に性的暴力によるトラウマが、どのように「敵」(日本兵、国民党軍、共産黨員など)のネガティブイメージ形成に関わっていたのかを検討する。

以上のように中国語圏を貫くテーマを整理した上で、最終的には従来の地域別文学史に変わる新たなサイノフォン文学史の構築を提言しようと考えた。

## 3. 研究の方法

テキストの収集と精読を中心として、中国語圏文学における多言語性(英語、日本語、少数民族言語)と、それぞれの言語圏を歩き交う人々によって生まれるダイナミズムを明らかにすることに努めた。

#### 4．研究成果

ジェンダー要素を視座に入れた中国語圏女性史にまつわる学術専著（『少女中国』）、最新の研究成果を取り入れた中国語文学史の教養書（『中国文学をつまみ食い』）、中国語圏文学を横断的に翻訳、紹介したアンソロジー（『華語文学の新しい風』）などの出版のほか、研究関心を共有する国内外の研究者と多く研究交流の機会をもち、今後の中国語現代文学の研究発展のための足がかりを作った。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計8件（うち査読付論文 4件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 濱田 麻矢	4. 巻 50
2. 論文標題 民国だめんず・うぉーかー : 白薇の東京体験	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 神戸大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 1~25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/0100481152	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 オウチュウ、田村 容子	4. 巻 72
2. 論文標題 コロナ時代の演劇	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 演劇学論集 日本演劇学会紀要	6. 最初と最後の頁 43~61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18935/jjstr.72.0_43	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 濱田麻矢	4. 巻 31
2. 論文標題 中日MeToo与文学	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本学研究	6. 最初と最後の頁 95-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 及川茜	4. 巻 65
2. 論文標題 都賀庭鐘『四鳴蝉』再論 華語語系文学 (Sinophone literature) の角度から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 和漢比較文学	6. 最初と最後の頁 27-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村容子、越野剛	4. 巻 28
2. 論文標題 中国映画における『白鳥の湖』の受容と変奏	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 饗餐	6. 最初と最後の頁 114-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 濱田麻矢	4. 巻 3
2. 論文標題 新式教育、自由恋愛と少女叙事 20世紀中国語圏文学中的少女形象	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 長江學術	6. 最初と最後の頁 41-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村容子	4. 巻 9
2. 論文標題 農民絵師・郭同江の養豚連環画	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 連環画研究	6. 最初と最後の頁 49-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 及川茜	4. 巻 62
2. 論文標題 台湾の文学空間の現在－制度、セルフメディア、海外華人作家	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 13-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計32件（うち招待講演 7件 / うち国際学会 17件）

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 革命現代芭蕾舞劇中の女性形象：重構の家庭和母親の缺位
3. 学会等名 「跨文化對話、協商與現代性：現當代華文文學與文化」國際學術研討會（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 斬られる女 京劇にみる女性、亡霊、そして現代中国
3. 学会等名 第30回北大人文学カフェ
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 馮德英『苦菜花』 1950年代中国社会主义プロパガンダ文学における母親像
3. 学会等名 社会主义リアリズム文学研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 晨报培養的女學生作家：冰心女士 試論冰心早期小説的創作策略
3. 学会等名 世界文明視野中の北京書写（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 留日中國女生的戀愛實踐 淺談白薇《悲劇生涯》
3. 学会等名 東亞海域的網路、空間與節點：2022年世界海洋文化研究機構聯席會及び東亞島嶼海洋文化論壇 海港都市國際學術研討會（國際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 中国近代フィクションにおける誘拐婚と男性性
3. 学会等名 東アジア日本研究者協議会第6回国際大会（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 横濱文学散歩：らしゃめん（洋妾）と南京さん
3. 学会等名 軍港、海港と人文学
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 インサイド・アウト 張愛玲が裏返した中国像
3. 学会等名 クロスリンガルネットワーク第15回研究集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 病があぶりだすもの パンデミックと分断を描く
3. 学会等名 神戸大学文学部ホームカミングデー（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 カノンを攪乱するテキスト 華文SFとイーユン・リー
3. 学会等名 中国現代文学研究者懇話会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 作者的悲劇、読者の喜劇 浅談白薇的自我書写
3. 学会等名 創造社百年紀念學術研討会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 満洲、上海、東京 蕭紅の揺れる自画像
3. 学会等名 熊本学園大学海外事情研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 だめんず愛のゆくえ 白薇の描いた東京
3. 学会等名 ワークショップ 異郷に学び異郷を書く 華人女性の留学体験（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Maya Hamada
2. 発表標題 The Imagery of Female Students in Xiao Hong ' s Works
3. 学会等名 AAS in Asia,2021 ( 国際学会 )
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 如何講述台灣：朱天心《古都》與胡蘭成的夢
3. 学会等名 富裕東亞，躍動東亞--東亞人文、經貿、科技的交流（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 神戸・文学・感染症
3. 学会等名 北京外国語大学・神戸大学国際共同研究拠点シンポジウム 疫病と人・社会（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 世代と距離を乗り越えて：ある民間研究会の挑戦
3. 学会等名 疫病流行期のオンライン人文教育：挑戦、課題と可能性（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 映画『太陽の少年（陽光燦爛的日子）』とソ連の記憶
3. 学会等名 東京外国語大学大学院博士前期課程ダブルディグリープログラム「公共圏における歴史（HIPS）」オンライン・レクチャー「視覚化された革命の記憶」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田村容子、越野剛
2. 発表標題 パレエのイメージと女性の身体：ソ連映画『1918年のレーニン』の中国における受容
3. 学会等名 日本ロシア文学会第70回大会ワークショップ「東アジアにおけるソ連の社会主義視覚文化 ジェンダー化された身体と越境するプロパガンダ」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 及川茜
2. 発表標題 マレーシアで華人であること、ムスリムであること
3. 学会等名 中国モダニズム研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 TAMURA Yoko, KOSHINO Go
2. 発表標題 Images of Ballet and the Female Body: Chinese Acceptance of Soviet Film
3. 学会等名 The 10th East Asian Conference on Slavic Eurasian Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 羅広斌・楊益言『紅岩』 中国社会主义プロパガンダ芸術における「母性」の表象
3. 学会等名 社会主義リアリズム文学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 中華人民共和国における『白鳥の湖』 白淑湘の踊った白鳥と『紅色娘子軍』
3. 学会等名 ロシア・東欧学会2019年度研究大会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 從台灣少年到台灣少女？ 楊千鶴的日語創作
3. 学会等名 中国の文学革命と19-20世紀世界 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 中の華から外の華へ 風 (phone) がかき乱す境界線
3. 学会等名 現代中国文学研究者懇話会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 未能就學の女孩子 以張愛玲與蕭紅為中心
3. 学会等名 武漢大学中国文学研究会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 日中における#metooと文学
3. 学会等名 中国・日本・東アジア1989～2019 - 平成 の内と外 - (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 HAMADA Maya
2. 発表標題 For Love or Ideals: Female Students and Liberation Army's March in 1949 and 1989
3. 学会等名 AAS in Asia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 濱田麻矢
2. 発表標題 迎合か革新か 中国系移民作家の英語創作
3. 学会等名 日本移民学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 及川茜
2. 発表標題 華語語系文学の部外者 非華人による非母語としての中国語創作
3. 学会等名 中華世界 その統合と分裂の諸相 -
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 及川茜
2. 発表標題 異托邦的夢是誰の夢? : 試論《台北星期天》與移民工文學 (ヘテロトピアの夢是誰の夢? : 映画『ピノイ・サンデー』と移民工文学試論)
3. 学会等名 赤道上のメイド・イン・台湾 : 蔡明亮・現代台湾馬華映像及び芸術 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 及川茜
2. 発表標題 都賀庭鐘『四鳴蝉』再論 華語語系文学 (Sinophone literature) の角度から
3. 学会等名 和漢比較文学会
4. 発表年 2019年

## 〔図書〕 計8件

1. 著者名 王 徳威、高 嘉謙、黄 英哲、張 錦忠、及川 茜、濱田 麻矢	4. 発行年 2022年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 360
3. 書名 華語文学の新しい風	

1. 著者名 武田 雅哉、加部 勇一郎、田村 容子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 266
3. 書名 中国文学をつまみ食い	

1. 著者名 濱田 麻矢	4. 発行年 2021年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 298
3. 書名 少女中国	

1. 著者名 濱田麻矢	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東洋文庫	5. 総ページ数 590
3. 書名 集体化時代の中国	

1. 著者名 濱田麻矢	4. 発行年 2021年
2. 出版社 上海遠東出版社	5. 総ページ数 420
3. 書名 日本漢学中的上海文学研究	

1. 著者名 王徳威など編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 聯經出版社	5. 総ページ数 355
3. 書名 五四@100 文化・思想・歴史	

1. 著者名 越野 剛、高山 陽子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 北海道大学出版会	5. 総ページ数 250
3. 書名 紅い戦争のメモリースケープ	

1. 著者名 山本 博之、秋庭 孝之、及川 茜、金子 奈央、篠崎 香織、アニタ・ソン、西 芳実、野澤 喜美子、野澤 喜美子、深尾 淳一、増田 真結子、光成 歩	4. 発行年 2019年
2. 出版社 英明企画編集	5. 総ページ数 480
3. 書名 マレーシア映画の母 ヤスミン・アフマドの世界	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	田村 容子  (TAMURA Yoko)  (10434359)	北海道大学・文学研究院・教授    (10101)	所属機関等は現在のもの。
研究分担者	及川 茜  (OIKAWA Akane)  (40646725)	神田外国語大学・外国語学部・講師    (32510)	所属機関等は研究会開始時のもの。退職のため2021年以降は不参加

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会 ブックトーク 華語文学の新しい風	開催年 2023年～2023年
国際研究集会 武漢大学現代文学研究会	開催年 2019年～2019年

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
中国	香港大学			
韓国	ソウル大学			